

ほのぼののだより

～ 雨の日によく読んでいた絵本を紹介します ～

7月は雨の多い月でしたね。今月のほのぼののだよりでは、クラスで読んでいたり、子ども達に人気のある絵本の一部を紹介したいと思います。お気に入りの絵本は何度も読み返すほどです。また、園では、絵本を読み終えた後、背表紙をそろえて片付けるなど、絵本を大切に扱う事を伝えたいと思っています。

「ちいさいモモちゃん」

(4・5歳児向け) 出版社：講談社
作：松谷 みよ子
絵：菊地 貞雄

4・5歳児のお昼寝の前に、保育士が読みます。絵は余白に少しある程度ですので、文章を聞いて、子ども達は想像を膨らませてお話を聞きます。主人公のモモちゃんと、ママとのさりげない日常の会話や心の葛藤が愉快で、子ども達もくすくすと笑う姿もあります。言葉の表現が素晴らしく、残していきたい児童文学のひとつです。他にもシリーズで出版しております。



「ぷくちゃんのすてきなパンツ」

(1・2・3歳児向け) 出版社：アリス館
作・絵：ひろさわ さえこ

ママがぷくちゃんにパンツを買ってくれます。ぷくちゃんは嬉しくて、パンツに挑戦します。遊んでいると、「あれ？ おしっこかな」「…ああ～、でちゃった」。ぷくちゃんは、「こんどこそは！」とトイレに向かいますが、また失敗。でも、ママはにこにここと「だいじょうぶよ」とやさしくむかえてくれます。トイレトレーニングをしているお友達やママに読んでもらいたい一冊です。



「やさいぺたぺたかくれんぼ」

(2・3・4歳児向け) 出版社：アリス館
作：松田 奈那子

夏の活動で絵の具を使い、子ども達と「野菜スタンプ」や「段ボール版画」をおこないます。その遊びが一冊の絵本になりました。はんこ遊び・スタンプ遊びが大好きな子ども達。この絵本を読むと、実際にスタンプ遊びが「やりたい！」となるかもしれませんね。簡単ですので、野菜でなくとも廃材などで、ぜひ楽しんでみてはいかがでしょうか。

